

日常生活を苦から楽に。そして健康に。

筑波大学附属小学校 五年 長野 光瑛

僕が将来の夢を持ち始めたのは、五年になったばかりの頃だった。僕の青森のおばあちゃん、腰痛持ちで、掃除も洗濯も辛いと言っていたことがある。さらに、テレビでは、お年寄りが病気で体が不自由になり、誰も助けることができないという番組を見たことがある。これが僕の夢のきっかけだ。僕の友達、自分の手でサポートして人を助けるといふごく優しい夢を持っていた。僕もこの夢を持ちたかったが、これだと一人につき一人しか助けられない。だから、大勢の人を助ける方法を考えてみた。僕は、「助ける」というワードをパソコンで検索してみた。

そして思いついたのは、人の手伝いをしてくれるロボットを作ることだった。きっかけは、パソコンではなく「理系の逆襲」というテレビ番組だった。ロボットで人間にスポーツで勝つという番組だ

が、スポーツではなくロボットが人間の手伝いをしてくれたらいいなと僕は思った。ロボットについて調べたら、プログラミング教室に通えば40%の知識を学べるということを知った。子供の世界大会では、小中学生の大会で小学生がたくさん優勝していた。今からでも遅くはない。だから、勉強を始めた。ロボットを作るには、もちろん電気、そして、数学などを十分に知っておく必要がある。初代優勝者は、小学四年生で小学五年生の僕にも多分できると信じる。

ロボットが学べる大学を調べてみると、芝浦工業大学という大学があった。この大学の部には、プログラミング知識がほとんどそなわっている。まして、理系のトップクラスの大学で就職率がものすごく高く、ロボットをたくさん作り出している。僕にはびつたり大学の大学である。採用数も大学のトップクラスのため本当に

デメリットが一つもなく、この大学に入ったら夢が叶えられるかもしれないと思った。

今、日本では少子化が進み、高齢者の割合が高くなってきているため、大勢の人たちの命をロボットで守ってあげたいと思う。農業などでも、高齢化が進み高齢者が全部やるとなると大変だ。この高齢化問題は、重要なことだと僕は思う。

ロボットには、さまざまなロボットがあり、そのロボットたちを作ったりするには、海外に行つて英語を話さなければならぬ。世界中のロボットに関わる人たちといっばい話をする必要があるからだ。ロボットで人を救えるなら勉強もしつかりやりたい。そして、さまざまなロボットを作ったり研究したりして、人の手伝いができるロボットを完成させたい。人といっばい交流し合えるロボットで人々を少しでも楽にできるようにしていきたい。苦から楽に、そしてみんなが健康でいられるという理想の世界になれば最高だ。

長野 光瑛 のライフプラン

将来なにになりたいか？ ロボットを作って生活を楽にする人
その理由：70~80になると歩けなくなるため、その人たちのためにロボットをつくらせて人たなど手伝いをして生活を楽にしたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	11(小5)	PCでプログラミングを学ぶ 英語の暗記	英語の教材代
2024年	12(小6)	筑波大学附属中学の勉強 英語の暗記	塾の教材・授業料
2025年	13(中1)	筑波大学附属中学 電子部に入る	PC代・学費 教材代
2026年	14(中2)	簡単なプログラムを作る 勉強復習	プログラムの道具代
2027年	15(中3)	筑波大学附属高校の勉強 英検2級受検	英検代
2028年	16(高1)	理系部に入り数学を勉強する 生活にやらないといけないに注意	入学金・テキスト代
2029年	17(高2)	プログラミング教室に通う ロボットをつくりだす	塾の授業代 ロボット代
2030年	18(高3)	大学に向けてGRE勉強 受験勉強	GRE受験料
2031年	19(大1)	芝浦大学入学 理工学部に入る	入学金
2032年	20(大2)	色々なロボットをつくらせてみる 大学をまわって勉強したため	
2033年	21(大3)	ロボット世界大会に出る	飛行機代
2034年	22(大4)	一位だったロボットを見本にして 新しいロボットをつくる	
2035年	23(大5)	運動部に入らしてジャンプのロボット つくる	
2036年	24(大6)	卒業試験に向けて勉強	
2038年	26	ロボットをつくり始める	ロボット代
2042年	30	シンガポールに行く ロボットでどうしたらいいのかを学ぶ	飛行機代
2047年	35	ロボットを使って人を楽にする	